



#### 業界の課題と特徴



クリニックでは、下記のような様々な現状に追われ、 新たな労働力確保は待ったなしの課題となっています。

#### 院長は直接診療以外の 業務に忙殺

・診療所の医師はひとりで、医師としての診療、経理を担当する事務員、医院の雑用、備品などの購入などを担当する総務係等一人で何人分も働いているにもかかわらず、勤務医の平均給与と比べられて開業医の所得が高いと叩かれ始めている

(某県医師会答申資料)

# 医療事務スタッフ求人への 応募がない

- ・某こどもクリニックでは、医療事務 スタッフを募集しているが、求人を 出しても<u>応募がない状況が半年以上</u> も続いている
- 『本来であれば、少なくともあと2名 は増員したい』と理事長の弁

# 採用したスタッフも 数か月で退職

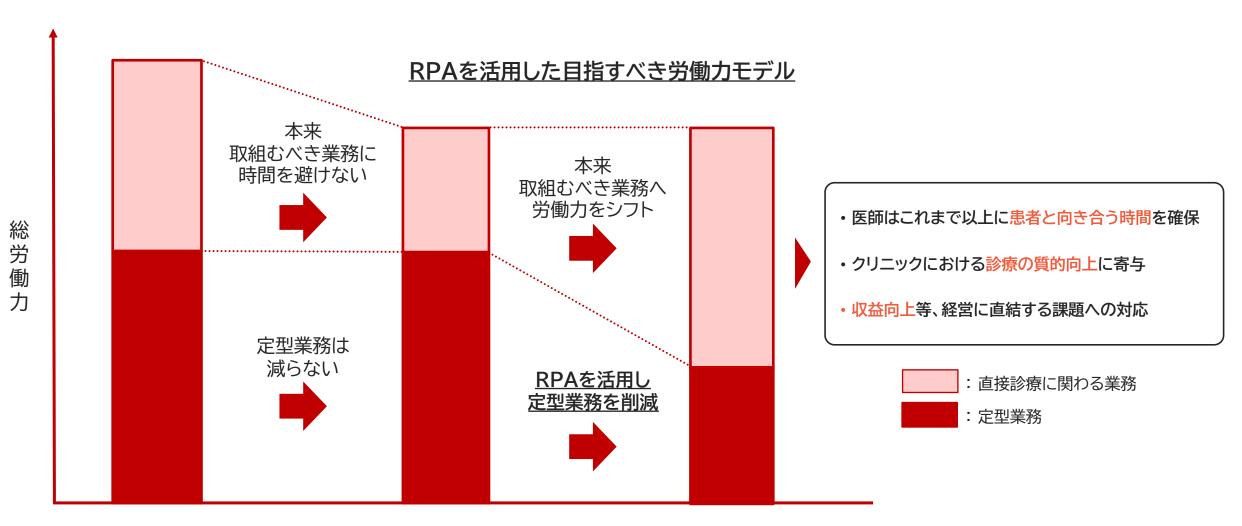
 某在宅クリニックでは、2017年開 院当初、診療所の内部体制をうまく 構築できず、スタッフの出入りが激 しく、入っても2日でやめる、3日で やめるというようなことが当たり前 となっていた

(クリニックマガジン2024年1月号より)



### 新たな労働力モデルの創造

我々は、RPA(=デジタルレイバー)を活用し、新たな労働力モデルを提唱していきます。



© OPEN, Inc. All rights reserved.

3



RPA(=デジタルレイバー)とはRobotic Process Automationの略で、

私たちが日々行っているパソコン上での一連の作業を効率化してくれる"ソフトウェアのロボット"です。



RPAによって定型業務を自動化することで、多くの課題を解決へと導きます。



## クリニックでRPAができること

#### 診療所・クリニックでRPAを使うと、例えばこんなことができます。

- ·在宅療養計画書作成·印刷
- ·訪問看護指示書作成·印刷
- ・請求書・診療明細書の出力
- ・kintone等の情報共有システムから電子カルテ への診療記録の転記
- ・ChatworkやMCS(Medical Care Station) 等のSNSから電子カルテへの診療記録の転記

- 予約システムに登録された患者情報を 電子カルテ、医事会計システムへ自動転記
- ・訪問予定表の転記



・診療報酬改定や医薬品情報に関する 厚生労働省HP・各医師会からの情報 収集

- ・日次の患者数と月次の患者数の集計
- •月次の請求額・収入額自動集計

- ・検査日の確認:定期的な血液検査、 INR検査等の指示を自動アラート
- ・検査結果の確認:血液検査HbA1cの 数値を自動チェックし、値が低い場合 のアクションを提案



## BizRobo!との連携システム実績(一部抜粋)

#### 【電子カルテ】

エムスリーデジカル株式会社	エムスリーデジカル(M3 DigiKar)
中央ビジコム株式会社	PHC(Medicom-HRV)
株式会社ビー・エム・エル	ビー・エム・エル(Qualis/Medical Station Clinic)
セコム医療システム株式会社	セコムOWEL
NTTプレシジョンメディシン株式会社	モバカル
メディカルインフォマティクス株式会社	homis

#### 【医事会計システム】

日本医師会ORCA管理機構株式会社 ORCA(オルカ)



### 想定される3つのデジタルレイバー効果

## RPAを活用することによる効果として3つの観点があります。

## 「業務効率化」



診療所・クリニックでは平均 2400時間/年 業務時間を削減

## 「医療の質向上」



検査実施漏れや検査結果確認漏れ防止等で医療の質を改善

## 「収益向上」



算定漏れや請求漏れ防止等、 医療収益の向上に貢献



#### 想定される3つのデジタルレイバー効果 ①業務効率化

クリニックにおけるRPA対象業務は平均25-30程度、 1業務あたりの平均削減工数は80時間/年

➡ RPAの活用により、トータル2,000-2,400時間/年程度の業務削減が可能

## オリーブ在宅クリニック 様

## 年間600万円人件費削減 を実現

- kintoneから電子カルテに患者情報の転記
- 電子カルテからkintoneに訪問予定患者の転記

など

## 磐田メイツ睡眠クリニック 様

## 768時間/年の業務削減 を実現

- 予約患者のCPAP使用状況ダウンロード
- CPAP遠隔モニタリング所見を電子カルテ転記

など



#### 想定される3つのデジタルレイバー効果 ②医療の質向上

- ・検査指示アラートで診療の標準化に貢献
- ・検査結果を分析し、医師へのネクスト・アクション提案も可能!

#### 定期検査指示アラートロボ

- ✓ 定期的な血液検査指示アラート
  - ・180日に1回
- ✓ 糖尿病患者への検査指示アラート
  - 前回A1c採血より90日
- ✓ ワーファリン投与患者指示アラート
  - INR検査は前回より60日
- ✓ 利尿薬使用患者への指示アラート
  - 前回採血より90日
- ✓ マグネシウム製剤使用患者指示アラート
  - 前回Mg採血より90日
- ✓ 甲状腺機能低下症患者指示アラート
  - ・前回TSH採血より90日

#### ネクスト・アクション提案ロボ

- ✓ 血液検査HbA1cの数値が低い場合のアクション提案 ⇒『貧血精査をしてください』
- ✓ 血液検査のカリウム(K)の数値が上昇している場合 のアクション提案
  - ⇒『カリウムが上昇しています。腎機能に注意をして ください』
- ✓ 血糖値が空腹時126又は随時で200の場合のアクション提案
  - ⇒ 『HbA1cをチェックしてください』
- ✓ 睡眠治療におけるCPAP使用状況が芳しくない場合 のアクション提案
  - ⇒ 『脱落の可能性あり。定期受診を待たず、事前介 入してください』



#### 想定される3つのデジタルレイバー効果 ③収益向上

#### 算定可能な定期文書自動作成とレセプトチェックロボで年間100万円の収益向上に貢献

#### 算定可能な定期文書の自動作成ロボ

- ✓ 訪問診療クリニックでは、診療報酬請求のために、毎月、居宅療養管理計画書等の定期文書を作成しなければならないが、業務負荷が高く、毎月作成できていない。
- ✓ 結果として毎月請求できていない。

- ロボが当月の診療録と前月の定期文書を見て、自動 的に下記文書を作成
  - > 在宅療養計画書
  - ▶ 訪問看護指示書
  - > 居宅療養管理指導書
- 毎月の請求が可能となり、収益向上に貢献!

#### レセプト・チェックロボ

- ✓ 現在、レセプト・チェックを外部業者に任せており請求事務がブラックボックスとなっている。
- ✓ レセプトチェックソフトで点検をかけているが、その 精度に懸念がある。

- 診療や検査の直後に、ロボが『病名』や『病名疑い』を チェック
  - > 心電図検査:不整脈疑い
  - ➤ BNP(血液検査):心不全疑い
  - > 尿検査:膀胱炎疑い
- 診療直後にチェックする事で精度向上(=収益向上) に貢献!





## ■請求書·診療明細書

毎月、各患者への請求書・診療明細書をダウンロードするロボットです。

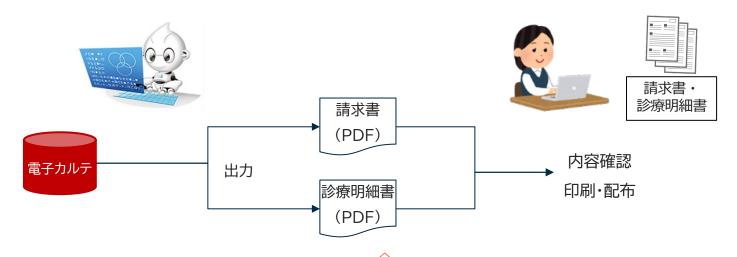
#### 在宅診療クリニック

#### 電子カルテから書類をダウンロード

ロボットが電子カルテから各患者の請求 書及び診療明細書をダウンロード

#### 請求書・診療明細書を印刷・配布

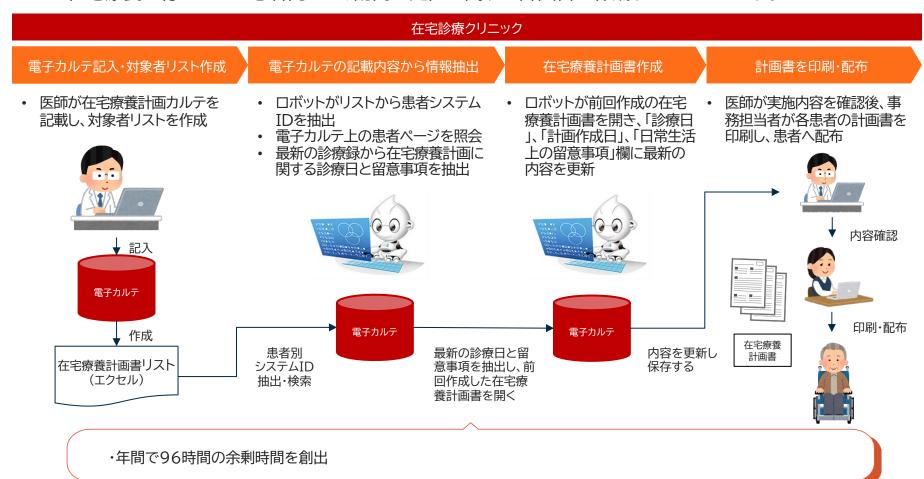
• 担当者がダウンロードされた請求書・診療 明細書を確認・印刷し、各患者へ配布



・年間で48時間の余剰時間を創出

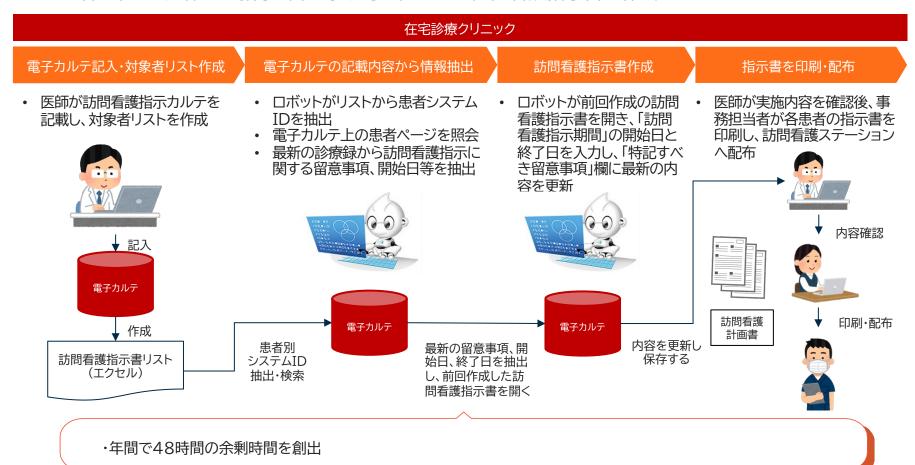
## ■ 在宅療養計画書作成ロボット

在宅療養を行っている患者向けに、訪問や処置に関する計画書を作成するロボットです。



## ■訪問看護指示書作成ロボット

訪問看護ステーションの看護師向けに、訪問看護を受ける患者の訪問看護開始予定日と終了予定日、 患者の状態、具体的な指示、留意事項等を記述する訪問看護指示書を作成するロボットです。





#### RPAユーザーの声 [浅川学園台在宅クリニック]



浅川学園台在宅クリニック(公式サイト:asakawagakuendai.com/)

#### 現場 課題

## 医師の関与が必須の事務は休診日に処理

北九州市八幡西区で2018年9月に開業した浅川学園台在宅クリニックは、院長の河野精一郎氏ら7人と、外部の訪問看護ステーション、ケアマネージャーや介護施設などと連携し、同区および近隣に住む患者80人に対する在宅医療を提供。

開業2年目のタイミングでコロナ禍に直面した河野氏は、クリニックが休診する週末に半日間、ワクチン接種に出務することを決めた。しかし土・日はそれ以前から訪問看護指示書の作成など、医師の関与が必須となる事務処理に充てていたことから、特に作業が集中する月末・月初は、本来の業務を圧迫しかねない状況となりつつあった。

#### 導入 効果

#### 医師の事務作業時間を 最大7割超削減

同クリニックで稼働中のロボット3種類のうち、在宅療養計画書と 訪問看護指示書の発行関連では、河野氏の手にかかる作業が最大 75%削減され、毎月10時間弱を創出。事務員が毎月5時間を充てて いた請求書発行作業は、ほぼ完全に自動化された。

個人開業の在宅医療で担う患者数が一般に50人程度とされる中、 実に1.5倍以上の患者を受け入れている河野氏は「RPAをはじめとする業務効率化のたまもの」と分析。「特に、毎月80通ある在宅療養計画書の作成では1通8分ほどの作業が2分足らずで済み、月末・月初に時間的・精神的な余裕が生まれました」と笑顔を見せる。

事務処理能力が強化されたことで、河野氏はコロナワクチン接種協力のため休日から半日を充ててもプライベートの時間を確保できるようになった上、今後いっそう積極的に患者を受け入れられるようになったという。

浅川学園台在宅クリニック BizRobo!導入 インタビュー事例

全文はこちらから





rpa-technologies.com/case/case075/



## RPAユーザーの声 [医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック]



医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック(公式サイト:ishiga-cl.com/index.html)

#### 現場 課題

#### 感動を生む医療を提供するには、 「働く側の環境整備」が重要!

石賀院長は、患者やご家族が感動するくらいに質の高い医療サービスの提供を実現させるためには、働く側の生活環境の充実も大切だといいます。「医師やスタッフが過重労働で疲弊していては、質の高いサービスを提供し続けることはできません」(石賀氏)

そこで、同院は「働き方改革」の流れに先行して労働環境の整備に注力。早期から電子カルテをはじめとしたソリューションを導入するなど、デジタル化の推進を図りながら、その一環として、RPAも導入されました。

その結果、医師の定時終業や有休の消化率100%を早期に実現。 昨年度はスタッフの辞職者が、独立開業した人を除いてゼロという 素晴らしい実績を残しています。

#### 導入 効果

#### 速さと正確さが求められる 「請求書発行」の手間が1/6に削減!

毎月1,000名にものぼる在宅患者の診療をおこなう同院ではバックオフィス業務をロボットがサポートしています。そのうちの一つが「請求書作成ロボット」です。毎月約1,000件の請求書を発行しますが、特に施設の顧客からは非常にタイトな期日で請求書の発行が求められます。

短期間でミスなく請求書を発行しなければならないことから、事務スタッフの残業も増え、精神的な負担も多い作業となっていました。しかし、ロボット導入後は、作業時間が6分の1程度に減り、時間に追われるストレスも残業もなくなりました。

同院ではこの他に「訪問看護指示書の作成ロボット」もスタッフの業務 負担の削減に大きく寄与しています。毎月約500名分の訪問看護指示書 が必要となるため、ロボットの導入前は、その作成業務はスタッフの大き な負担になっており、作成日付の書き換えミスなどが発生することもあり ました。しかし、ロボット導入により、訪問看護指示書作成の大半が自動 化され、スタッフがおこなうのは主にチェック作業になりました。その結果、 以前は月間で50時間ほどかかっていた作業時間が、5分の1の10時間 ほどに削減されました。

医療法人SIRIUS いしか在宅ケアクリニック BizRobo!導入 インタビュー事例





#### 全文はこちらから

rpa-technologies.com/case/case094/

## 導入までの流れ



ユーザー企業



弊社

自動化業務 の洗い出し

同業種の自

動化事例の 提示

対象業務の優先順位付 トライアルの進行 やスケジュール、サ ポート等の打ち合わせ

疎通検証等

ロボ作成

導入要件を 満たすかの 検証

不足情報の 提供や効果 検証の支援

導入判断

導入の場合は、運用保守、 オンボーディングの打ち 合わせ

複数製品の比較ポイントの整理

比較中製品の比較ポイントの確認(2~3社がおすすめ)



#### ご相談、お問合せはこちらまで



https://rpa-technologies.com/inquiry/contact

全国10拠点どこからでもご支援可能! まずはお気軽にお問合せをください!



# クリニックの業務をすぐに自動化!

ロボット作成の手間をプロがサポート!

「業務を自動化したいけれど、ロボット作成を学ぶ時間も作る時間もない…」 そんなお悩みを解決する「エンジニアリングサービス」

- 環境構築・ロボット作成・エラー対応・修正まで対応
- ・ 常駐&リモートで柔軟に開発支援
- ・早期ロボット化で業務効率UP!

こんな方に おすすめ!

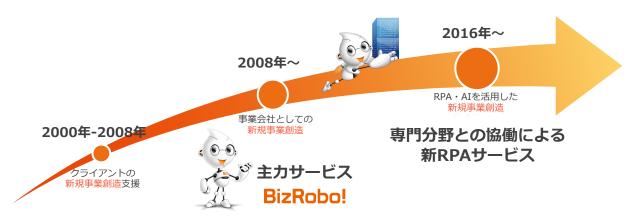


- ロボット開発をプロに任せたい
- 開発体制が整うまでサポートが欲しい
- 業務分析、選定から相談したい

詳しくは営業担当までお問い合わせください!

## ✓OPGN オープン株式会社について

会社名	オープン株式会社
持ち株会社	オープングループ株式会社【東証プライム:6572】
設立	2013年7月
代表者	代表取締役執行役員社長 石井 岳之
所在地	東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル 3階
事業内容	スマートロボット(RPA、AI)を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業 スマートロボット(RPA、AI)を活用したアウトソーシング事業 スマートロボット(RPA、AI)を活用したデジタルマーケティング、オンライン広告事業



# BizRobo!

ヒトの進化を共創する 医療向けRPAならBizRobo!



BizRobo!についての情報はこちら

www https://rpa-technologies.com